

☆ 少年の主張富山県大会について ☆

1979年の国際児童年を記念して始められ、今年が44回目になります。

本大会の目的は、中学生が日常生活の中で感じていることや考えていること、家庭や社会において自分たちが果たすべき役割についての提言、将来の夢や希望などを自分の言葉でまとめ県民に広く発表するものです。そして、自分と他者や社会とのかかわりを見つめ直し、誰もが社会の一員であるという意識の啓発をねらいとして実施しています。

☆ 作品の応募状況 ☆

応募総数	1,964点
県への推薦作品数	57点
県大会発表作品数	10点

☆ 審査委員 ☆

森 正 晴	NHK富山放送局 コンテンツセンター長
関 口 和 美	北日本新聞社 編集局 生活文化部長
川 淵 満 (審査委員長)	富山新聞社 報道局社会部参与
仲 井 文 之	元富山国際大学 子ども育成学部教授
高 林 三 智	富山県教育委員会 生涯学習・文化財室 社会教育主事
石 黒 将 大	富山県教育委員会 小中学校課 指導主事
廣 田 勉	青少年育成富山県民会議 副会長
松 井 邦 弘	富山県厚生部 こども家庭室長 (敬称略 順不同)



伸びよう 伸ばそう 青少年

毎月第3日曜日は とやま県民家庭の日

とやま県民家庭の日 から始まる1週間は とやま家族ふれあいウィーク